

「おうちをつくろう。冬」

in 名古屋市西図書館

2024. 11. 30

おうちのほん

みんなのいえ

たしろちさと／著 文溪堂 2023

ちいさなまちはずれの、だれもすまなくなったいえに、ひとりのたびびとがすみつけたことから、じゅうにんがふえ、いえがうまれかわっていきます。



いえができるまで (しぜんにタッチ!)

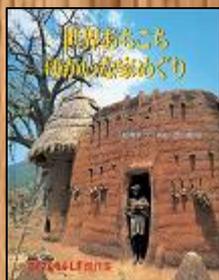
砺波周平／取材・構成・写真

ひさかたチャイルド 2016

みんなのすんでいるいえは、どうやってできたのだろう。なにもないところに、いえのどだいがつくられ、はしらをたてて…。かんせいまでのあいだに、たくさんのひとがしごとをしています。

ここがわたしのねるところせかいのおやすみなさい
レベッカ・ポンド／文 サリー・メイバー／作画
まつむらゆりこ／訳 福音館書店 2022

いえは、みんながあんしんしてかえってきて、ねるところ。せかいじゅうのこどもたちのねるところをきれいな刺繍(ししゅう)でしようかいます。



世界あちこちゆかいな家めぐり

(たくさんのふしぎ傑作集)

小松義夫／文・写真 西山晶／絵 福音館書店 2004

せかいには、とちをいかしたいろいろなものでつくられたゆかいないえが、たくさんあります。しゃしんでしようかいます。

ちいさいおうち

ばーじにあ・リー・ばーとん／ぶん・え

いしいももこ／やく 岩波書店 1965

むかしむかし、ずっといなかのしずかなところに、ちいさいきれいなおうちがありました。じまんのいえは、まごの、そのまたまごまでも、ずっとくらしていけるいえです。ところが、ねんげつがたつにつれて、いえのまわりがどんどんかわっていってしまいました。

